



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月8日
上場取引所 東

上場会社名 小林製薬株式会社
 コード番号 4967 URL <https://www.kobayashi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 賀一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務本部長 (氏名) 中川 由美 TEL 06-6222-0142
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	33,665	3.2	1,350	△46.7	1,671	△30.4	1,036	△36.2
2025年12月期第1四半期	32,607	△10.6	2,535	△49.6	2,401	△56.0	1,624	66.5

（注）包括利益 2026年12月期第1四半期 2,357百万円（-%） 2025年12月期第1四半期 △2,052百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	13.95	—
2025年12月期第1四半期	21.86	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	254,864	208,926	81.7
2025年12月期	275,329	211,008	76.3

（参考）自己資本 2026年12月期第1四半期 208,101百万円 2025年12月期 210,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	44.00	—	60.00	104.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	45.00	—	61.00	106.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	173,000	4.4	12,500	△16.2	13,000	△23.5	10,000	173.5	134.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期1Q	78,050,000株	2025年12月期	78,050,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	3,711,236株	2025年12月期	3,711,236株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期1Q	74,338,764株	2025年12月期1Q	74,338,819株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は2026年5月8日（金）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催当日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(収益認識に関する注記)	10
(重要な後発事象の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社紅麹関連製品に関して、健康被害にあわれた方々への誠実な補償対応を最優先に進めるとともに、策定した再発防止策を着実に実行しております。

当第1四半期連結累計期間における当社グループをとりまく経営環境は、中東情勢の緊迫化に伴う軍事衝突の発生等、地政学リスクが急速に高まっており、これに起因する国際物流の混乱やエネルギー価格の高騰、資材確保の難化に加え、為替変動や各国の法規制強化といったリスクも重なり、先行き不透明な状況が続きました。なお、中東情勢による当第1四半期連結累計期間の業績への影響は軽微であります。引き続き情勢を注視し、リスクの極小化に努めてまいります。

その結果、売上高は33,665百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は1,350百万円（前年同期比46.7%減）、経常利益は1,671百万円（前年同期比30.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,036百万円（前年同期比36.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

国内事業

当事業では、乾燥やネイル等の外部刺激が原因で爪まわりの角質が白く硬くなる症状を、血行を促すことでキレイに治す治療薬「チュメキュア」や、しぶとい便臭・尿臭・下水臭等のトイレの5大悪臭を化学的に消臭できる芳香・消臭剤「消臭元ZERO トイレ用」、ヘッド部分が小さく、お口の小さな女性・子どもにも使いやすい柄付きフロス「糸ようじコンパクトヘッドタイプ」、トイレの4大悪臭（便臭・尿臭・カビ臭・下水臭）に効くトイレ臭特化処方で水ぎわの黒ズミの発生を抑え、お掃除が楽になるトイレタンククリーナー「液体ブルーレットおくだけ除菌EX消臭プロ」等、2025年の春に10品目、秋に12品目の新製品を発売し、売上に貢献しました。

紅麹関連製品の自主回収に伴い広告を一時停止していましたが、2025年7月の本格的なテレビ広告再開を機に、その後も継続的にマーケティング活動を展開しております。これらの施策が功を奏し、ヘルスケア・日用品ともに売上は回復基調が継続しております。

その結果、売上高は24,437百万円（前年同期比3.8%増）、セグメント利益は1,684百万円（前年同期比33.7%減）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第1四半期連結累計期間では766百万円、当第1四半期連結累計期間では1,148百万円となっております。

なお、自社通販サイト及びコールセンターを通じた製品の販売は2025年12月末をもって終了いたしました。それに伴い、以下の外部顧客への売上高の内訳につきましては、前第1四半期連結累計期間のヘルスケア13,503百万円に通販751百万円を含めて表示しております。

(外部顧客への売上高の内訳)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)	増減	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)
ヘルスケア	13,503	13,742	238	1.8
日用品	8,626	8,991	365	4.2
カイロ	640	554	△86	△13.5
合計	22,771	23,288	517	2.3

国際事業

当事業では、米国・中国・東南アジアを中心に、カイロや額用冷却シート「熱さまシート」、外用消炎鎮痛剤「アンメルツ」等を販売しており、広告や販売促進等、積極的に投資することで売上拡大に努めました。

米国では、ヘルスケア関連製品の供給問題等により、減収となりました。

中国では、主力製品であるカイロ、熱さまシート、アンメルツいずれも好調に推移し、増収となりました。

東南アジアでは、一部の国での前年の各種感染症流行の反動で熱さまシートの需要が低迷したことにより、減収となりました。

その結果、売上高は10,558百万円（前年同期比4.6%増）、セグメント損失は338百万円（前年同期はセグメント利益0百万円）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第1四半期連結累計期間では382百万円、当第1四半期連結累計期間では355百万円となっております。

(外部顧客への売上高の内訳)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)	増減	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)
米国	4,837	4,404	△433	△9.0
中国	1,992	2,662	669	33.6
東南アジア	2,038	2,013	△25	△1.3
その他	839	1,123	284	33.8
合計	9,708	10,203	494	5.1

その他

その他には、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおり、各社は独立採算で経営し、資材やサービスの提供についてその納入価格の見直しを適宜行いました。

その結果、売上高は1,643百万円（前年同期比15.3%増）、セグメント利益は95百万円（前年同期比159.4%増）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第1四半期連結累計期間では1,298百万円、当第1四半期連結累計期間では1,470百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ20,465百万円減少し、254,864百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（5,584百万円）、受取手形及び売掛金の減少（18,742百万円）、商品及び製品の増加（2,991百万円）等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ18,383百万円減少し、45,937百万円となりました。主な要因は、未払金の減少（14,768百万円）等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,081百万円減少し、208,926百万円となり、自己資本比率は81.7%となりました。主な要因は、利益剰余金の減少（3,423百万円）、為替換算調整勘定の増加（1,265百万円）等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、2026年2月10日付け公表の「2025年12月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,314	56,729
受取手形及び売掛金	52,180	33,438
有価証券	8,300	8,300
商品及び製品	14,710	17,702
仕掛品	2,022	2,227
原材料及び貯蔵品	6,020	6,569
その他	3,316	2,635
貸倒引当金	△45	△20
流動資産合計	148,820	127,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,248	33,138
機械装置及び運搬具（純額）	7,004	7,184
工具、器具及び備品（純額）	2,591	2,487
土地	6,211	6,603
リース資産（純額）	655	700
建設仮勘定	17,656	18,223
有形固定資産合計	67,367	68,337
無形固定資産		
のれん	7,711	7,503
商標権	6,566	6,305
ソフトウェア	2,620	2,573
その他	516	528
無形固定資産合計	17,414	16,911
投資その他の資産		
投資有価証券	31,840	31,535
長期貸付金	1,334	1,363
退職給付に係る資産	891	915
繰延税金資産	5,264	5,919
投資不動産（純額）	2,442	2,435
その他	1,335	1,287
貸倒引当金	△1,382	△1,423
投資その他の資産合計	41,726	42,033
固定資産合計	126,508	127,282
資産合計	275,329	254,864

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,458	7,684
電子記録債務	6,440	2,923
未払金	30,916	16,148
リース債務	319	332
未払法人税等	1,852	1,364
未払消費税等	1,138	485
賞与引当金	3,052	4,417
製品回収関連損失引当金	2,176	1,592
その他	5,783	6,964
流動負債合計	60,137	41,911
固定負債		
リース債務	359	395
退職給付に係る負債	989	972
その他	2,833	2,657
固定負債合計	4,182	4,025
負債合計	64,320	45,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	522	522
利益剰余金	204,240	200,816
自己株式	△24,767	△24,767
株主資本合計	183,444	180,021
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,085	13,114
為替換算調整勘定	13,012	14,277
退職給付に係る調整累計額	663	688
その他の包括利益累計額合計	26,761	28,080
新株予約権	793	814
非支配株主持分	9	10
純資産合計	211,008	208,926
負債純資産合計	275,329	254,864

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	32,607	33,665
売上原価	15,924	16,226
売上総利益	16,682	17,438
販売費及び一般管理費	14,147	16,087
営業利益	2,535	1,350
営業外収益		
受取利息	51	137
受取配当金	6	0
不動産賃貸料	76	71
補助金収入	8	106
その他	100	85
営業外収益合計	244	401
営業外費用		
支払利息	4	4
不動産賃貸原価	25	20
為替差損	272	2
貸倒引当金繰入額	56	40
その他	18	11
営業外費用合計	378	80
経常利益	2,401	1,671
特別利益		
固定資産売却益	54	0
投資有価証券売却益	16	461
その他	8	5
特別利益合計	79	466
特別損失		
固定資産処分損	4	19
製品回収関連損失	688	318
その他	45	62
特別損失合計	738	400
税金等調整前四半期純利益	1,743	1,737
法人税、住民税及び事業税	947	1,343
法人税等調整額	△826	△643
法人税等合計	120	699
四半期純利益	1,623	1,037
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,624	1,036

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	1,623	1,037
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△428	29
為替換算調整勘定	△3,258	1,265
退職給付に係る調整額	11	24
その他の包括利益合計	△3,676	1,319
四半期包括利益	△2,052	2,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,050	2,356
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

(偶発債務)

当社紅麴関連製品に関する健康被害や自主回収情報等を公表して2年以上経過しましたが、引き続き企業様からの回収費用に係る情報収集及びその費用のお支払いや、健康被害にあわれたお客様からの補償申請書類の確認や医療費等の補償のお支払いを順次進めているところです。

当該事象に関連して、主に企業様向け紅麴原料の回収費用及び健康被害にあわれたお客様への補償費用について、現時点で合理的に見積り可能な範囲内で、製品回収関連損失引当金として計上しておりますが、訴訟等、現時点で合理的な見積りに及ばない範囲については、当社がその総額を合理的に見積ることは困難であり、追加的に費用が発生する可能性があります。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間において、紅麴関連製品の回収及びその関連費用等について、製品回収関連損失318百万円を特別損失として計上しております。製品回収関連損失の主な内訳は、企業様向け紅麴原料の回収費用、健康被害にあわれたお客様への補償費用及び製品回収関連損失引当金の繰入等となります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	1,832百万円	1,896百万円
のれんの償却額	354	364

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	国内 事業	国際 事業	計				
売上高							
日本	22,771	—	22,771	127	22,898	—	22,898
米国	—	4,837	4,837	—	4,837	—	4,837
中国	—	1,992	1,992	—	1,992	—	1,992
東南アジア	—	2,038	2,038	—	2,038	—	2,038
その他	—	839	839	—	839	—	839
顧客との契約から生じる 収益	22,771	9,708	32,480	127	32,607	—	32,607
外部顧客への売上高	22,771	9,708	32,480	127	32,607	—	32,607
セグメント間の内部売上 高又は振替高	766	382	1,148	1,298	2,447	△2,447	—
計	23,537	10,091	33,629	1,425	35,054	△2,447	32,607
セグメント利益	2,541	0	2,541	36	2,578	△42	2,535

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△42百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年1月1日 至 2026年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	国内 事業	国際 事業	計				
売上高							
日本	23,288	—	23,288	173	23,462	—	23,462
米国	—	4,404	4,404	—	4,404	—	4,404
中国	—	2,662	2,662	—	2,662	—	2,662
東南アジア	—	2,013	2,013	—	2,013	—	2,013
その他	—	1,123	1,123	—	1,123	—	1,123
顧客との契約から生じる 収益	23,288	10,203	33,491	173	33,665	—	33,665
外部顧客への売上高	23,288	10,203	33,491	173	33,665	—	33,665
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,148	355	1,504	1,470	2,974	△2,974	—
計	24,437	10,558	34,996	1,643	36,639	△2,974	33,665
セグメント利益又は損失 (△)	1,684	△338	1,346	95	1,441	△91	1,350

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△91百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識に関する注記)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。